

## 図書たより



NO.85 Nov. 2025

明治大学中野図書館

## 図書館員オススメの本

『銭湯から広げるまちづくり: 小杉湯に学ぶ、場と人のつなぎ方』加藤優一著. -- 学芸出版社, 2023. 中野開架 673.9/144//N



高円寺にある銭湯「小杉湯」。その隣にはシェアスペース「小杉湯となり」がある。以前この場所には風呂無しアパートがあり、そこで解体までの一年の期間限定で「銭湯ぐらし」というプロジェクトが行われた。小杉湯の常連 10 人がアパートに住み「ここ」で何かをやってみるという生活実験である。

ミュージシャンは銭湯でライブを開催、イラストレーターは銭湯の魅力を発信、銭湯付きの民泊や全国の物品販売など、銭湯のとなりという価値を最大限に活かした様々な試みが実験された。一年間の生活実験の後にプロジェクトは法人化され「小杉湯となり」というシェアスペースが生まれ、その活動は街に広がりイベントの共催や商品の共同開発など地域商店との連携も行われている。50 人を超えたスタッフも老若男女 20~80 歳と幅広く、さながら銭湯に集う人の縮図のようである。

『絵本戦争 : 禁書されるアメリカの未来』堂本かおる [著]. -- 太田出版, 2025.

中野開架 019.5/21//N



幼少期に数々の絵本とともに過ごしたことを思い出した。就寝前に本棚からお気に入りの 絵本を選んでページをめくって絵を指でなぞったり、音読した記憶。お気に入りの絵本の中に は「タンタンタンゴはパパふたり」があった。2羽のオスペンギンが子育てをする話だ。現在、 米国では「タンタンタンゴ…」をはじめとする絵本が禁書の対象にされている。黒人、LGBTQ、 アジア系などがテーマに含まれていた場合、Moms for Libertyという米国の保守派団体が禁 書運動の中心となり、学校図書室などから自分たちの相容れない内容の児童書や絵本を排除 しているのだ。このような顕著な禁書運動はトランプ政権による保守派勢力が拡大している ことが背景にある。大人の政治的・思想的な事情により子供たちに「そんな人やもののことを 知らなくていいよ」と、それについて書かれた本を取り上げることの危険さ、さらに米国の近 年の政治の混乱、そこから生まれた禁書という文化戦争の最前線について考えるきっかけに なる一冊だ。

『マザーツリー: 森に隠された「知性」をめぐる冒険』

スザンヌ・シマード著 ; 三木直子訳. -- ダイヤモンド社, 2023 中野開架 653.1/6//N



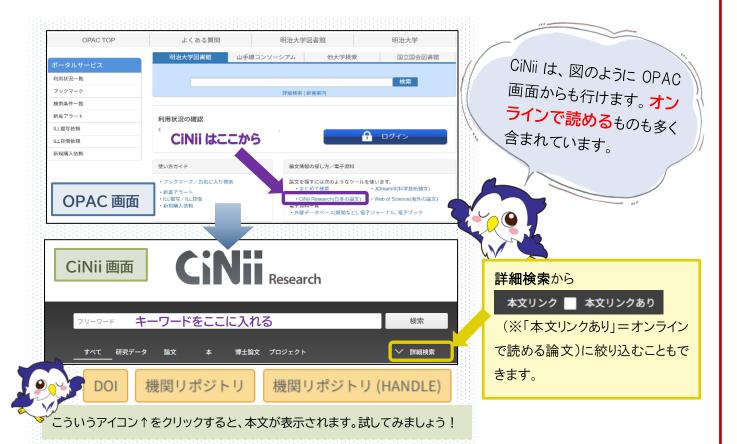
なぜ、この広大な森が美しく神秘的に存在しているのか、森を守るために何をしなければならないのか、シマード先生の追究は 40 年以上続いた。植物が土中の菌とコミュニケーションをして、ギブ&テイクしている、そのことは土についての本を読んで学んだ。森の木々もそうだったのだ。菌は森全体の土に広がっている、しかも栄養や水のやり取りだけでなく、木と木が、また木と他の植物が、菌を通じてコミュニケーションしているというのだ。あたかも動物の神経系のように。そして、マザーツリーという古樹大木がその中心的なハブとなって、ネットワークが構築されている。この本は先生の自伝でもあり、長い話だが、森と深い繋がりがあった祖先の血を継ぐ先生の語り口はやさしい。環境問題もぎりぎりのところまで来ている現在、この本からのメッセージは尊い。

## レポート対策に!日本語論文の探し方 CiNii(サイニィ)を使おう!



レポートなどの課題で参考文献を OPAC で探しても思ったような図書が見つからない、ということはないですか?そんな時は、論文検索ができるデータベース CiNii がおすすめ!

<mark>新しい/細かい/深い(専門的な)</mark>テーマは、<mark>雑誌論文</mark>を探すと見つかることが多いですよ。



自分の探したいテーマに関する**キーワードやトピックで**どんどん検索してみましょう! 複数のキーワードを入れたり、絞り込みの条件を変えたりすると、検索結果も変わります。 最初は幅広く検索し、だんだん条件を加えて絞り込むなど、工夫しながら探してみてくださいね。

## 中野図書館からのお知らせ



〈対象〉 大学院生・学部学生(科目等履修生・聴講生を含む)

〈対象期間〉 大学院生: 2025 年 11 月 25 日(火)~12 月 14 日(日)

学部学生: 2025 年 12 月11日(木)~12 月 28 日(日)

※ 12月28日は中央図書館のみ開館

〈返却期限日〉 <u>2026年1月15日(木)</u>

※ローライブラリーの貸出期間は通常通り1週間です

